

第5学年 英語科学習指導案

日 時 平成29年9月8日(金)
 モジュール：10：00～10：15
 児 童 モジュール：赤石小学校5学年計75名
 指導者 モジュール：小野寺 小百合 阿部 勲寿
 場 所 モジュール：古館小学校 1階ホール

1 単元名 What do you want? 「何が欲しいの?」 (Hi, friends! 1 Lesson 6)

2 単元について

本単元は、最終ゴールのコミュニケーションを行う場面を相手が見えない電話の中でのやりとりとする。相手の欲しいものを聞いたり、自分の欲しいものを話したりする活動の中で、簡単な語句や表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合うことができるようにすることをねらいとする。

言葉でしか相手に伝えられない状況を作ることで、ゆっくりとはっきりと話さなければならいことを理解させた上で、今までの中学年で慣れ親しんできた語句や表現を使って、自分の力で伝え合えられることを目指している。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- 活字体の文字とその音がわかるとともに、何が欲しいか相手に尋ねる表し方が分かる。
(知識及び技能)
- 目的に応じた必要なものを考え相手に伝えたり、相手の欲しいものを推測して聞き直したりすることができる。
(思考力・判断力・表現力等)
- 他者に配慮しながら、自分の欲しいものを伝えたり相手の欲しいものを聞いたりすることができる。
(主体的に学習に取り組む態度)

(2) 拠点事業校のCAN-DOリストとの関連

聞くこと Listening	ゆっくりとはっきりと話されたごく簡単な要求を聞き取ることができる。
読むこと Reading	音声で慣れ親しんだ語句や表現を発音しようとする。
話すこと (やりとり) Spoken interaction	相手の欲しい物を聞いたり、自分の欲しいものやその理由を伝えたりすることができる。
書くこと Writing	アルファベットの大文字をブロック体で高さに気を付けて書き写すことができる。

(3) 単元の評価規準

観点	ア 知識及び技能	イ 思考力・判断力・表現力等	ウ 主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の欲しいものをはっきりゆっくり相手に伝えることができる。 ・相手に何が欲しいか尋ねる表現を使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なものを考え相手に分かるように工夫して伝えたり、相手の欲しいものを状況から推測して聞きとったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを配慮し、聞き返したりうなずいたりするなどして、前向きにコミュニケーションを図ろうとすることができる。

4 児童について

児童は、3・4年生時に外国語活動を行い、音声の学習に十分に慣れ親しんできている。初めて聞く英語も注意深く聞くことができたり、慣れ親しんだ語を使ってコミュニケーション活動を楽しんだりすることのできる児童が多い。半面、「書くこと」や「読むこと」の言語活動に関してはこれから慣れ親しむ段階であり、正しくアルファベット（大文字）を読んだり書いたりすることのできる児童は少ない。

5 指導にあたって

今年度から、週1回の45分の授業の他に15分のモジュールを週に3回のペースで授業を行っている。児童の英語リーダーがモジュールの前半を進めることで主体的に学習を進めることができ、その結果、時間を有効に活用することができている。主に動画や英語リーダーの簡単な英語の劇を見ながらどんな言葉が出てきたか考えたり、アルファベットや単元に出てくる文字の読み書きの練習をしたりしてきた。“What do you want?”の表現を使える場を児童とともに考えながら、友達とコミュニケーションをすることを楽しく感じることをできる児童を目指し、習得した「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を一体的に育成できるよう指導していきたい。

6 指導と評価の計画(4時間+モジュール 1/3×12回)

時間	○目標 ・ 学習活動	○評価規準	評価方法
1 モジュール ①②③	○身近なものについて、日本語と英語の音声の違いに気付くことができる。 ・フラッシュカード ・チャンツ ・フォニックスソング ・アルファベット（大文字の書き）	○日本語と英語の発音の仕方の違いに気付いている。 (知識・理解)	行動観察 ワークシート
2	○日本語と英語の違いに気を付けて聞くことができる。 ・単元の見通し ・スキット（小劇）サム先生の夏休み ・チャンツ ・フラッシュカード ・自己紹介ゲーム ・名前の書き方（アルファベット）	○日本語と異なる英語の発音に気付き、発音したり、聞き取ったりすることができる。 (知識・理解) (思考力・判断力・表現力等) (主体的に取り組む態度)	行動観察 ワークシート
3 モジュール ④⑤⑥	○欲しいものを尋ねる表現に慣れ親しむ。 ・フラッシュカード ・ストーリーを聞こう (松香フォニックス) 市販教材 ・チャンツ ・フォニックスソング ・アルファベット（大文字の書き）	○What do you want? 等の定型表現に慣れ親しむことができる。 (知識・理解) (思考力・判断力・表現力等)	行動観察 ワークシート
4	○欲しいものを尋ねる表現を使うことができる。 ・チャンツ ・キーワードゲーム ・ミッシングゲーム ・Writing on the back game.	○What do you want? 等の定型表現を使うことができる。 (知識・理解) (思考力・判断力・表現力等) (主体的に取り組む態度)	行動観察 ワークシート
5 モジュール ⑦⑧⑨ ⑨ 本時	○電話での簡単なやりとりの仕方に慣れ親しむ。 ・英語リーダーによるスキット（小劇） ・チャンツ ・フォニックスソング ・フラッシュカード ・ライティングゲーム	○英語を使った簡単なやりとりに慣れ親しむことができる。 (知識・理解) (思考力・判断力・表現力等)	行動観察 ワークシート
6	○電話を使って英語で簡単なやりとりをすることができる。 ・チャンツ ・メイクペアゲーム ・インタビューゲーム	○英語を使って簡単な挨拶ややり取りができる。 Hi!Mike! This is Ken等. 必要な情報は繰り返す等 (知識・理解)	行動観察 ワークシート

		(思考力・判断力・表現力等) (主体的に取り組む態度)	
7 モジュール ⑩⑪⑫	○相手の欲しいものを訪ねる表現に慣れ親しむことができる。 ・英語リーダーによるスキット (小劇) ・チャンツ ・フォニックスソング ・フラッシュカード ・ライティングゲーム	○What do you want? の表現に慣れ親しむことができる。 (知識・理解) (思考力・判断力・表現力等)	行動観察 ワークシート
8	○電話の向こうの相手が必要としているものを聞き取ることができる。	○What do you want? の表現を使うことができる。 (知識・理解) ○自分の作りたいものに関する語を選び ～pleaseの表現を使って相手に要求することができる。 (知識・理解) (思考力・判断力・表現力等) (主体的に取り組む態度)	行動観察 ワークシート

6 モジュール活動案 9 / 12

過程	活動内容	留意点・教材・教具
導入 2分	Warming-up 1. あいさつをする 2. 学習の流れの説明 3. クエスチョンタイム ・日時、曜日、天気	・T1による指導 1～7 ・大型テレビ PC ・英語リーダーによるクイズ ・時間や曜日、天気、日付を表すカード
展開 12分	Activity 4. 英語リーダーによるスキット (小劇) ・スーパーマーケットでの一場面 5. チャンツ 6. フォニックスソング 7. 語句の練習 (フラッシュカード) 8. ライティングゲーム 自分の名前と友達の名前をアルファベットの大きい文字で書く。 TOMATO を書く。	・大型テレビ PC ・T1がどんな英語が聞こえたか児童に問いかける。 ・黒板 ・単語カード ・電話機 ・文字を見ながら歌う。 ・大型テレビ PC ・フォニックスソングは音をよく聞いてから声に出して歌う。 ・大型テレビ PC ・語句に慣れ親しませることと即興性をねらいとする。 ・ワークシート ・T2による指導 8～9 ・大型テレビ PC ・字の大きさ 形 スペースに気を付ける。 ・エアーライティングをして書き書き順を確かめてからワークシートに書く。
終末 1分	Greeting 9. あいさつ	